

ロータリーの目的と定義

国際ロータリー第2780地区
クラブリーダーシップラーニングセミナー

令和8年4月19日

地区ラーニング委員会委員長：佐野英之(秦野RC)



**2016～17年度 R I 元会長ジョンF.ジャーム氏
のもと 当地区のカバナーを努めさせて頂きました
秦野RCの佐野です**

宜しくお願いします

**「ロータリーの目的と定義」についてお話し
させて頂きます**

お話ししたいこと

来年度の準備に役立つお話

ロータリーに対する意欲を高め、
協力関係を築く機会になるようなお話

ロータリーの目的と意義を復習



ロータリーを新たに考えるきっかけ

規定に定められた ロータリーの目的

標準ロータリークラブ定款

第 3 条 目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。

規定に定められた ロータリーの目的

具体的には、次の各項を奨励することにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 ロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が奉仕の理念を實踐すること
- 第4 国際理解、親善、平和を推進すること

現在の「目的」にまとまるまで

ロータリーの目的は、ロータリーの本質を端的に表している



ロータリーの目的は、重要な意義を持っている

現在の「目的」にまとまるまで

- 最初のクラブであるシカゴクラブは、創立の翌年である1906年に、クラブの目的を「会員の相互扶助と親睦」とする定款を決定しました。今でいう「職業奉仕」と「クラブ奉仕」が、当初の目的だったと考えて良いでしょう。

まもなくして「シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める」とした対社会的目的が取り入れられました。

これにより「社会奉仕」が目的に取り入れられたのです。

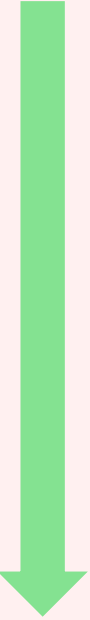
現在の「目的」にまとまるまで

- 1922年以降、設立される各ロータリークラブは標準クラブ定款の採択を義務付けられました。
- 1935年、6か条だった綱領が4か条に書き換えられ現在の「ロータリーの目的」の基礎となり、1951年の国際大会で従来の4か条の本文と4つの附随項目となって現在に至っています。

現在の「目的」にまともるまで

- 目的にある～Ideal of Service～は現在では「奉仕の理念」と訳されていますが、旧邦訳では「奉仕の理想」と訳され、お馴染みのロータリーソングでも「奉仕の理想」と歌われています。

ロータリーの目的の捉え方

- 
- 意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある
 - 職業奉仕を前提としてロータリーの目的は構成されている
 - 人道的奉仕、社会奉仕に重点が置かれるようになる
 - ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、**職業生活を初め、個人・社会生活の全てにおいて** 奉仕の理念を奨励し、これを **あらゆる場面に適用し、育むことにある**

「奉仕の理念」とは何なのか

「奉仕の理念」を表す2つの公式標語

< 超我の奉仕 >

個人の利害や打算、私的な利益を捨て、それを超えたところで社会や他者のために尽くす、という高い倫理的な理念

< 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる >

自分の儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば、結果として継続的な事業の発展が得られるという思考

「奉仕の理念」とは何なのか

Service (奉仕)の意味

● 初期のロータリー

Service(奉仕)の意味 = 正しいビジネス方法としてのサービス(奉仕)

● 現在

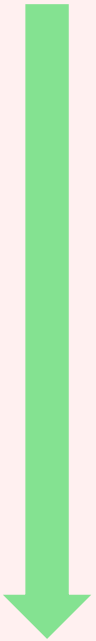
Serviceの意味 = 「人々の助けとなること、社会に役に立つこと、世の為に尽くすこと」と解するとわかりやすい

● **奉仕の理念とは、「人々の助けとなること、社会に役に立つこと、世の為に尽くすこと」を**実践すること****



「奉仕の理念」とは何なのか

- Service (奉仕)の意味の拡張
- Service(奉仕)はロータリーにおいて重要なキーワードの1つ
- ロータリーは Service(奉仕) をもって人間活動の根本観念とする運動と理解することも出来る



「ロータリーの定義」を考えてみる

●誰かにロータリーを説明する場面で必要になるスタティックな定義

＜国際ロータリーがまとめた定義＞

ロータリーは、人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である

「ロータリーの定義」を考えてみる

＜ロータリーの3つの際立った特徴＞

- ① **国際性** ロータリー創立後16年と短い期間で、六大陸へと拡大した
- ② **粘り強さ** 第二次世界大戦中に、ドイツ・イタリア・スペイン・オーストリア・日本は脱退を余儀なくされたが、非公式のミーティング等この危機を乗り越え、戦後は不羈独立の組織として存在していること
- ③ **奉仕へのコミットメント**
 ポリオ根絶運動など、
 国境を越えた人道活動に力を注いでいること

「ロータリーの定義」を考えてみる

●ロータリーを考える場面で現れてくるロータリーに対する自由な定義

私たちがロータリーを考える場面では ~ これがロータリーなんだ ~ と
思える事柄が浮かんでくることがあります

これらは定義そのものではありませんが ロータリーらしさを表す事柄には
ロータリーの定義を考えるに必要な「他と明確に区別できるポイント」
や「組織として共通認識されるポイント」が隠されています

「ロータリーの定義」を考えてみる

ロータリーの特徴（例）

- ① 地元にも密着した活動として、人と人とのネットワークを生かし地域の真のニーズを見極めて、課題に取り組んでいること
- ② 多角的なアプローチは、様々な職業やスキルを持つ人達がアイデアを寄せあい、世界や地域が抱える諸問題に対する独自の解決策を見出していること

「ロータリーの定義」を考えてみる

ロータリーの特徴（例）

- ③ 倫理を大切にして、責任を持って粘り強く活動し、その場限りではなく、持続可能な成果をもたらす事を目指していること

- ④ ロータリークラブは、世界中のほとんどの地域に存在しそれぞれが、独自の活動を行ってローカルとグローバルで変化をもたらしていること

「ロータリーの定義」を考えてみる

ロータリーの特徴（例）

- ⑤ 会員の自律性・多様性・寛容の精神を持って多様な個人の自主的な繋がりによるネットワークが形成されていること
etc.

「ロータリーの定義」を考えてみる

- 多くのクラブで 自分達のクラブの特徴を改めて話し合っ
てみて頂きたいと思います
そして、ロータリーを再評価して 自クラブがロータリーという
大きな組織の重要な構成員であることを自覚するとともに
「それぞれのクラブの活動の可能性が大きく広がること」
を期待したいと考えます

ポール・ハリスの言葉



「 Rotaryが何の責務を負わず
単なる気休め 又は余暇を過ごす場
になったら Rotaryの有益さは無くなります 」

今日のクラブリーダーシップラーニングセミナーが
次年度の皆様の新しい任務の一助になって
すべてのクラブが輝かしい年度となることを期待します

ご清聴 ありがとうございます

地区ラーニング委員会委員長：佐野英之(秦野RC)